



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2010. 2月号

第11回 博物館まつり ～サークル活動展示発表会～

期 間：平成22年2月13日(土)～28日(日)

展示会場：平塚市博物館 特別展示室

主 催：博物館まつり実行委員会

準備風景（水辺の楽校生きもの調べの会）▶



◀準備風景（民俗探訪会）

▲第10回博物館まつりの様子

ごあいさつ

「第11回博物館まつり」を開催いたします。

西暦2000年に始まり、昨年、節目の10回目を迎えたこの「博物館まつり」は、2010年、新たな10年紀（decade）のスタートに立ちました。

現在、20近いサークルにとって「博物館まつり」は、日ごろの研究成果を皆さんに発信できる大変よい機会です。今年はどのような展示や成果発表があるのだろうかワクワクしながら「学ぶ・遊ぶ・楽しむ」のひと時を過ごしていただけますなら実行委員一同たいへん嬉しく思います。

「博物館まつり」、この「まつり」という言葉には、古い意味に《しきたり通りに行くこと》と聞いたことがあります。これは、年月、そして人々も世代をこえて、大事なものを毎年繰り返し伝え行っているということと考えます。「博物館まつり」もこの言葉どおり毎年多くの方の参加をいただき、「まつり」として今後10年、20年と年月を超え、世代を超えて続いていくものと確信し、開催のご挨拶とさせていただきます。

平成22年2月

第11回博物館まつり実行委員長 天羽 輝彦

参加団体：平塚の空襲と戦災を記録する会、民俗探訪会、石仏を調べる会、水辺の楽校・生きもの調べの会、展示解説ボランティアの会、天体観察会、星まつりを調べる会、古代生活実験室、神奈川キノコの会、お囃子研究会、古文書講読会（順不同）

関連行事は次ページ!! →

博物館まつり関連行事

★成果発表会 平成22年2月20日（土） 13：00～16：00 場所：講堂 参加自由

順	時刻	グループ名	タイトル	発表者
①	13：10 ～13：30	星まつりを調べる会	「星まつりを調べる会の6年と28星宿の道標」	田村壽
②	13：30 ～14：00	民俗探訪会	「相模湾の漁業と民俗」	柴垣吉宏他4名
③	14：10 ～14：30	平塚の空襲と戦災を記録する会	「平塚空襲時の避難路－その時人々は－」	渡辺良子
④	14：30 ～14：50	古文書講読会	「簗島家古文書『慶応四年御用留』からみた明治維新」	蓮仏博邦
⑤	15：00 ～15：20	水辺の楽校生きもの調べの会	「自然の遊び場、馬入水辺の楽校」	臼井勝之
⑥	15：20 ～15：50	天体観察会	「変光星の観察」	永井和男

※14：00～14：10と14：50～15：00は休憩です。

★実演（参加自由）

- ・「スポット解説『鍔付土器』『四神二獣鏡』の裏側は？」（展示解説ボランティア）
日時：会期中の土、日曜日 13：00～15：00 場所：二階展示室
- ・「たいこ体験&実演」（お囃子研究会）
日時：2月13日（土） 14：30～16：30 場所：講堂
- ・「朗読『火薬廠のある街で』より」（平塚の空襲と戦災を記録する会）
日時：2月20日（土） 10：00～11：00 場所：相模の家
- ・「火起こし体験」「弓矢体験」（古代生活実験室）
日時：2月20日（土） 10：00～12：00 場所：科学教室
※火起こし 雨天決行、弓矢(対象小学生以上) 雨天中止

プラネタリウム
2月6日(土)～4月4日(日)

銀河のムコウ

夜空に光る星たちを見上げて、宇宙を想う。すごく大きな気分になった気がしますね。

しかし、95年ほど前にハッブルというアメリカの天文学者が銀河系のはるか向こうにたくさんの銀河がうかがふ、もっと広大な宇宙が広がっていることを見つけてしまいました。さらに、その宇宙は膨張していることも。こうなってくると、宇宙の果ては、そして銀河はどこまで広がっているのだろう、と疑問も果てしなく広がります。

今では宇宙を見る望遠鏡も大きなものが作られ、ハッブルが見た銀河が浮かぶ宇宙のもっとむこうを写し出せるようになってきました。ハワイのマウナ・ケアに作られたすばる望遠鏡は目ではなにも見えないような空間に望遠鏡を向けて、遠くから来る光のみを受けて撮影することができます。それは「すばるディープフィールド」と呼ぶ



宇宙の果てを見通すことができる領域で、100億光年かあなたの、そして100億年前の銀河を写し出します。まるで星が写っているようですが、拡大するとみな銀河なのです。その形から100億年前の宇宙がどんな世界だったかを理解できます。

銀河のむこうの世界に、宇宙がまだ子供だった頃の姿を見に出かけましょう。

投影日：2月6日～4月4日の土曜日・日曜日
3月31日、4月1日
投影時間：11:00 14:00
観覧料：100円（中学生以下無料）

◀ Hubble Deep Field

平塚古墳情報

2月17日(水)
～3月30日(火)

現在、平塚市遺跡分布地図では古墳や古墳群が23か所掲載され周知されています。平塚市史では過去の文献や現況調査の結果を踏まえ74か所を「古墳・古塚」として掲載しています。そのうち一部は既に削られたり崩壊したりしていますし、未調査のため古墳かどうか分からないものもあります。

一方、平成19年8月、平塚市教育委員会は、周溝確認調査の結果をもとに「塚越古墳は相模国領域内で最大規模の前方後方墳と確定した」と発表しました。また大神地区では牛山古墳が調査され、古墳として新たに遺跡台帳に登載されました。

地域の支配者の墓である「古墳」は、弥生時代における集落単位の社会が、河川流域規模の地域的なまとまりにステップアップしていく様相を示す資料として重要です。全国各地で古墳が注目され、多くが史跡として保存されているという現象も、「地方の時代」を背景にした「地域の歴史を見つめなおす気運」に裏づけられたものと言えます。

今回の展示では、平塚市内の古墳に関する最新の情報をお届けします。



塚越古墳全景▶

(北金目 平成18年9月)

ミニ文化祭

展示制作：東海大学教養学部人間環境学科藤吉研究室

里地里山から食文化を考える

2月18日(木)
～3月16日(火)

～人と自然のつながり～

里地里山とは、人々の生活と結びついた山林や田畑、その周辺地域のことをさします。そこは、主に農業を通して稲作や雑木林の管理などにより手入れがなされ、人々は里地里山から、様々な恩恵を受けて生活をしてきました。しかし、現在、人々の生活の変化に伴い、里地里山と人との関わりが希薄になっているように思われます。

今回の展示では、里地里山を含む自然と人の繋がりについて考えることを目的に、平塚・秦野の人々が「食」を通してどのように自然と関わってきたのかをアンケート調査した結果を紹介します。

その結果、地域で採れるたくさんの野草やその調理法を知ることが出来ました。フキやワラビ、ヨモギ、タラノキなどの一般的なものから、中には意外な植物！？もあり、経験と知識の元、昔から様々な植物を利用してきたことがわかりました。そして、私達は調査結果を元に、実際に野草を採取・調理し、試食を行うことで理解を深めました。

展示ポスターでは、食べられる野草を、季節を通して紹介しています。そして、実際に食べてみた感想もふまえながら、野草の調理例を掲載しました。また、ポスターだけでなく、写真や標本（どんぐりなどの食べられる堅果）、クイズなども用意し、分かりやすく紹介しています。是非お越しください。

東海大学 教養学部 自然環境課程 4年 渡辺悠香



▲東海大学での展示風景 (12月)



◀ ゲンノショウコのお茶



クワの実▶

4	木	展示解説ボランティアの会	講堂
5	金	古文書講読会	講堂
6	土	☆ プラネタリウム「銀河のムコウ」 ～4月4日まで	プラネ
		天体観察会	科学室・屋外
7	日	水辺の楽校生きもの調べの会	科学室
12	金	古文書講読会	講堂
13	土	星まつりを調べる会	野外
		☆ 博物館まつり ～2月28日まで	特別展示室
14	日	地質調査会	科学室
		平塚の古代を学ぶ会	講堂
17	水	☆ 寄贈品コーナー「平塚古墳情報」 ～3月30日まで	寄贈品コーナー
		民俗探訪会	館外・小田原市
		裏打ちの会	科学室
		展示解説ボランティアの会	講堂
18	木	☆ ミニ文化祭「里地里山から食文化を考 える～人と自然のつながり～」 ～3月16日まで	情報コーナー
		古文書講読会	講堂
19	金	◎ 星を見る会	屋上・科学室
20	土	◎ 博物館まつり成果発表会	講堂
21	日	◎ 古代生活実験室	科学室
21	日	◎ ろばたばなし	相模の家
25	木	石仏を調べる会	特研究室
26	金	古文書講読会	講堂
		○ style-3「プラネタリウムコンサート」	プラネ
27	土	お囃子研究会	講堂
		地域史研究ゼミ	特研究室
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
28	日	◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
		地質調査会	科学室

4	木	展示解説ボランティアの会	講堂
5	金	古文書講読会	講堂
7	日	水辺の楽校生きもの調べの会	野外
11	木	石仏を調べる会	特研究室
12	金	古文書講読会	講堂
14	日	相模川の生い立ちを探る会	館外・伊勢原市 (雨：科学室)
16	火	星まつりを調べる会	特研究室
17	水	民俗探訪会	館外・真鶴町
		裏打ちの会	科学室
18	木	展示解説ボランティアの会	講堂
19	金	古文書講読会	講堂
20	土	☆ 春期特別展「相模国府」～5月9日	特別展示室
		古代生活実験室	科学室
		地質調査会	特研究室
		天体観察会	館外・月光天文台
21	日	◎ ろばたばなし	相模の家
		平塚の古代を学ぶ会	講堂
25	木	石仏を調べる会	特研究室
26	金	古文書講読会	講堂
		◎ 星を見る会	屋上・科学室
27	土	◎ 第3回ひらつか囃子太鼓フェスティバル	中央公民館
		地域史研究ゼミ	特研究室
28	日	◎ 平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
		◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
30	火	◎ 地質調査会	科学室
		◎ 自然教室「鳥のパズルを作ろう」	科学室
31	水	◎ 雑貨団公演	プラネ
		◎ 自然教室「春休み船上観察会」	野外・相模湾

☆：展示、プラネタリウム ○：申込制 ◎自由参加 無印：年間会員制

特別展示室

☆第11回 博物館まつり

期 間：2月13日(土)～2月28日(日)

場 所：特別展示室

内 容：平塚市博物館で様々な活動を行い、博物館事業の一翼を担っているサークルの活動や一年間の成果を紹介します。

成果発表会：2月20日(土) 13:00～16:00

場 所：講堂(参加自由)

自由参加行事

◎ろばたばなし

民家のいろいろばたで昔話を聞いてみませんか。

日 時：2月21日(日) (1)午後1時20分～ (2)午後3時～

場 所：展示室1F 民家(参加自由)

◎星を見る会「冬の星座と火星」(雨天・曇天の場合中止)

冬の星座の星々と接近した火星を観察します。

日 時：2月19日(金) 午後7時～午後8時30分

場 所：博物館屋上・科学教室(参加自由)

◎プラネタリウムで宇宙を学ぶ会「国際宇宙ステーションの見方」

国際宇宙ステーションや人工衛星の見方を解説します。

日 時：2月28日(日) 午後3時30分～午後4時30分

場 所：プラネタリウム(参加自由)

プラネタリウム一般投影

☆「銀河のムコウ」

銀河系のかなたには、たくさんの銀河がうかぶ宇宙がひろがっています。その構造がわかってきました。

投影日：2月6日(土)～4月4日(日)までの

土・日曜日の午前11時～午後2時

観覧料：100円(中学生以下無料) 定員86名

寄贈品コーナー 情報コーナー

☆寄贈品コーナー「虫こぶの世界」

期 間：1月9日(土)～2月14日(日)

場 所：平塚市博物館 1階寄贈品コーナー

内 容：植物にできる"こぶ"のうち、昆虫が原因のものを中心に紹介します。

☆寄贈品コーナー「平塚古墳情報」

期 間：2月17日(水)～3月30日(火)

場 所：平塚市博物館 1階寄贈品コーナー

内 容：真土大塚山古墳、塚越古墳、牛山古墳などの最新情報を展示します。

☆情報コーナー

「ミニ文化祭 里地里山から食文化を考える～人と自然のつながり～」

期 間：2月18日(木)～3月16日(火)

場 所：平塚市博物館 2階情報コーナー

内 容：平塚・秦野地域における食文化を調査した結果を紹介します。

あなたと博物館 37巻11号 通算398号 発行 平塚市博物館 2050

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ <http://www.hirahaku.jp/>